



**ナカムラ病院**

介護老人保健施設 **まいえ**

医療法人ピーアイエー

グループホーム **つばい**



特別養護老人ホーム

**陽光の家**

通所介護事業所

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

社会福祉法人双樹会

# C & C コミュニケーション

第53号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1 TEL(082)923-8333(代)  
ホームページ <http://www.pia-gr.or.jp/>

▶タオルをたたむ表情は真剣そのものです



## 「おたすけ隊」始動!!

老人性認知症  
疾患治療病棟  
合同グループ活動



今年五月、「おたすけ隊」を結成。隔週土曜の午後に活動しています。隊員はB5・B6・B7・A3病棟に入院されている患者さま、十三名。各病棟専属の作業療法士、四名が運営しています。活動内容は、病院で使用する洗顔タオルたたみ、新聞を折って作る簡易ゴミ袋作り、病棟外の掃除など、仕事の活動を中心に行っています。

### ●おたすけ隊の目的は？

入院生活では、誰かのために何かをして、他者から感謝されるという機会は極端に少なく、また、さまざまな制約から、すること自分の役割を見つけてすることも容易ではないと思われます。

そこで、「おたすけ隊」では、活動を提供し、「役割」を持つだけでなくと同時に、他者から「感謝さ

れる喜び」を体験していただくことを重視しています。

### ●おたすけ隊の対象者は？

何もしないで過ごすことが苦痛、レクリエーションや芸術活動より、仕事・家事的な活動の方が好き、といった方々をお誘いしています。

### ●参加者の様子

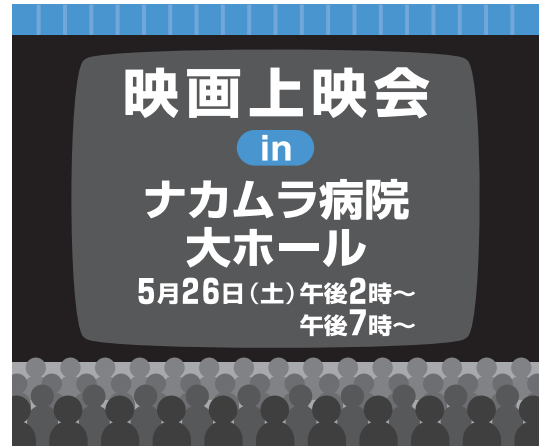
日頃、帰宅要求などで落ち着いて過ごすことの難しい患者さまが、いきいきと活動に取り組みれたり、活動後のティータイムで、病棟の垣根を越えた交流を楽しまれたりと、社交の場としても楽しんでいただけているようです。

ナカムラ病院リハビリテーション科

作業療法士 小林 美和



▲「出来上がりましたよ」「届けてくださってありがとう」



五月二十六日(土)、映画『博士の愛した数式』の上映会を開催しました。昼の部百二十五名、夜の部五十五名の方に鑑賞いただきました。

上映会は今回で四回目を迎えました。一回目は五年前に『折り梅』、二回目は一昨年『ホーム・スイートホーム2』、三回目は昨年『君に読む物語』を上映しました。

上映後、映画の感想等を尋ねたアンケートでは、多くの方々から貴重なご意見をいただきました。

『記憶を失い、他人の手助けが必要となった人から、まさかこれほど多くのことを学ばせてもらえるものかと驚きました。私もこれらの人生を歩む上で目に見えない

ものを軽んじないように心掛けたと思います』という感想が印象的でした。



上映会の一週間前に同映画がテレビで放送されましたが、上映後のアンケートの中の『DVDで見るよりスクリーンで見たほうが、より内容に入り込めるので…』『コマーションもなく大きな画面で二時間、吸い込まれる様に見ました』『『久しぶりの映画でした。やはりテレビとは迫力が違います…』との心強いコメントに、主催する側も元気をいただきました。

最後になりましたが、当日は女性だけの奉仕団体く国際ソロプチミストウエストひろしまのご協力により、ご来場の皆さまへ飲み物が配られました。あらためて厚くお礼申し上げます。

医療法人ピィアイエー

コミュニケーション委員 中田 英雄

## 満足度調査

## ご意見と回答

### 【ご意見】

面会時にもう少し時間を作っていただき、双方からの情報交換を詳しくお願いしたいです。

平成十八年満足度調査にて、ご家族からいただいた具体的ご意見に対しての返答を、この場を借りてお知らせします。今後、随時掲載していく予定です。

### 【回答】

当院は、主に認知症の方を対象とした精神科病棟と一般内科病棟の二種類があり、双方で患者さまのご状態等を話し合う機会を設けております。

精神科でのクリニカルパス面接と同じように、理学療法士、作業療法士等多職種参加のもと定期的にご本人の現在のご状態や今後の治療・リハビリ方針等を話し合っております。もちろん、ご家族にも出来るだけ参加していただくようにしております。

精神科ではクリニカルパス面接と呼んでいるもので、これは平成十四年より実施しております。基本的に入院後二週間、その後は三ヶ月毎にご家族参加のもと、医師や看護師、介護職、リハビリスタッフ、臨床心理士、相談指導員などの多職種が集まり、ご家族へ現在のご本人のご様子や今後の治療方針等を説明させていただきます。

このように、治療内容に加え、如何により良い療養生活を過ごしていただくか定期的に検討することでチームケアを実践しておりますが、面会時職員に声を掛けて下されば、その都度ご状態や気付きの点等を説明させていただきますので、遠慮なくお申し付けいただければと思います。

尚、現在クリニカルパス面接を行っているかない方で、希望があればいつでも声を掛けていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願致します。

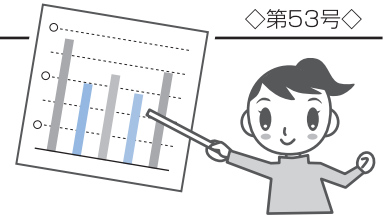
また、ご家族からのご要望等があれば、その場でお聞きし、できるだけ当院での療養生活に反映できるよう努力しております。

また、一般の内科病棟ではリハビリカンファレンスを実施しており、

ナカムラ病院 院長 中村 英雄

平成18年度

利 用 実 績



昨年度の、各施設における実績をご報告いたします。

「平均在院(所)日数」は平成19年3月末時点で入院(所)されていた方々のデータを基にしております。「病床利用率」については、18年度1年間を通してのデータです。「要介護度分布」および「平均介護度」は18年度1年間の平均を示しております。

	ナカムラ病院	まいえ (介護老人保健施設)	陽光の家 (介護老人福祉施設)																																														
平均在院(所)日数	1341日	579日	1416日																																														
病床利用率	99%	87%	98%																																														
要介護度分布																																																	
平均介護度	B1・B2・B3病棟 4.61 (介護療養型医療施設)	2.59	3.88																																														
<p>全国の介護保険3施設の平均介護度は?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護療養型医療施設 ▶ 4.25</li> <li>介護老人保健施設 ▶ 3.18</li> <li>介護老人福祉施設 ▶ 3.75</li> </ul> <p>(厚生労働省 H18年9月)</p>																																																	
	B2病棟 4.62 (特殊疾患療養病棟)																																																
	A3・B5・B6・B7病棟 3.06 (老人性認知症疾患治療病棟)																																																
認知症の度合いは…?	<p>老人性認知症疾患治療病棟であるこの4病棟については、必ずしも介護度が介護量を反映しているとはいえません。認知症の重症度の目安として右表の「長谷川式簡易知能検査」※の得点分布も、ご参照ください。</p> <p>※「長谷川式簡易知能検査」とは? 認知症の簡単なスクリーニングテスト。30点満点で20点以下では認知症、21点以上では非認知症とされています。</p> <p>●この検査における認知症の重症度の目安は……</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軽度……………19.10 ± 5.04点</li> <li>中等度……………15.43 ± 3.68点</li> <li>やや高度……………10.73 ± 5.40点</li> <li>非常に高度… 4.04 ± 2.62点</li> </ul> <p>(平成19年3月末時点)</p>																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平均点</th> <th colspan="6">得点分布(人)</th> <th rowspan="2">未実施者数(人)</th> </tr> <tr> <th>30~26</th> <th>25~21</th> <th>20~16</th> <th>15~11</th> <th>10~6</th> <th>5~0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A3病棟 5.29点</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>B5病棟 6.45点</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B6病棟 7.65点</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>22</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>B7病棟 7.93点</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			平均点	得点分布(人)						未実施者数(人)	30~26	25~21	20~16	15~11	10~6	5~0	A3病棟 5.29点	0	1	0	8	9	30	0	B5病棟 6.45点	2	1	3	6	9	30	3	B6病棟 7.65点	0	2	3	11	12	22	4	B7病棟 7.93点	0	2	4	8	11	18	3
平均点	得点分布(人)						未実施者数(人)																																										
	30~26	25~21	20~16	15~11	10~6	5~0																																											
A3病棟 5.29点	0	1	0	8	9	30	0																																										
B5病棟 6.45点	2	1	3	6	9	30	3																																										
B6病棟 7.65点	0	2	3	11	12	22	4																																										
B7病棟 7.93点	0	2	4	8	11	18	3																																										

# 栄養のお話

現在、ナカムラ病院の食事で「キザミ食・極キザミ食」の方を中心に提供させていただいている食事の中にムース食というものがありません。これは、給食部門を委託している日清医療食品(株)の社内で開発されたものです。摂食・嚥下障害のある方でも食べていただける食事です。特徴としては、見た目も良く、食べても美味しく安全な食事。食べる人、介護する人にとって負担



▲左がムース食、右が普通食の鮭と玉子焼きです



にならない食事。口から食べることの喜びを思い出していたくなく、などがあげられます。

ナカムラ病院

栄養科主任 前原 陽子

## つばいこぼれ話

### ご家族との情報共有の巻

つばいでは、定期的にご家庭にお便りをお送りしています。毎月の行事やホームの出来事、お一人おひとりの様子を書き添え報告しております。

先日はご利用者同士、お互いの行動や動作が気になり、何気なく言った言葉がトラブルに発展する

ことに対して、全員で解決に向けて話し合いました。しかし、そのときは納得されてもすぐに同じ繰り返しが続くため、食堂の席替えを提案し実行したところ、少しずつ効果が現れ、言い争いが減少したことなどをお知らせしました。

ご家族と情報を共有し、生活環境の異なる、ご利用者さまの表情やその時々言葉から気持ちや思いを察知し、ホームがくつろげる生活の場となるよう、支援してきたいと思えます。

グループホームつばい

介護職 井口 榮子

## 陽光の家通信

【番外編】

～家族会園芸活動～



▲色とりどりの花と一緒にハイチーズ

テキな癒しの空間が出来上がりました。

今は散歩を兼ねて朝と夕にお花の手入れを入所者さまと一緒に取り組んでいます。五月は陽光の家の開設記念となっており、園芸活動の後、入所者さま、ご家族、スタッフで食事会をいたしました。今後も陽光の家人所者さまの笑顔が増えるよう、心温まる行事を提供していきたいと思えます。

特別養護老人ホーム 陽光の家

相談員 梅本 直子

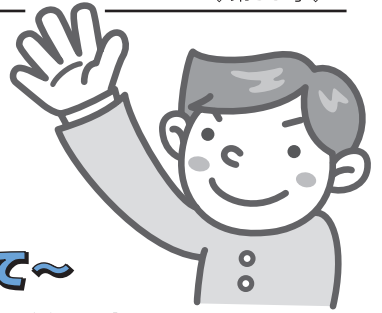


五月二十日、毎年恒例の家族会園芸活動を行いました。天候にも恵まれ太陽の恵みとそよ風を受けながら、ご家族と入所者さまが手を取り合って花の植え付け等を行いました。

普段は積極的に行事に参加されない方も「昔は花を沢山育てていたのよ。」と色とりどりの苗木を手に取り、手際よくプランターへと植え付けをされ「みんなと一緒にするのはいいね。」と笑顔で参加されている姿が印象的でした。

今年はいつもの多めに花を植え、玄関まわりを花いっぱいにし、ス

# 在宅介護の助っ人!!



## 第14弾

### ～軽度者の福祉用具貸与の 例外給付の見直しについて～

要支援1・2及び要介護1の方に対する車椅子、特殊寝台等の8種目の福祉用具貸与については、平成18年4月から、原則として保険給付の対象外となり、日常的に歩行が困難など、特に福祉用具が必要な状態と判断された方についてのみ、例外的に保険給付の対象とされましたが、平成19年4月から、この例外給付についての判断方法が一部見直されました。助っ人は、陽光の家居宅介護支援事業所の松本慶太さんです。

①、②についてそれぞれ確認できる書類を各区健康長寿課に提出し、福祉用具貸与が必要であると判断された方は、例外的に保険給付の対象となります。これまでは、福祉用具が必要な状態であるにも関わらず、例外給付の対象とならないことがありました。今回の見直しでぜんそくや心疾患、がん末期など、時間によっては福祉用具が必要な状態の方に対しても利用できるようになりました。詳しくは介護支援専門員(ケアマネージャー)又は地域包括支援センターの担当職員にご相談ください。

#### 見直しの概要

- ① 「福祉用具貸与の例外給付の対象とすべき状態像」に該当することについて、医師の医学的な所見に基づき判断されていること。

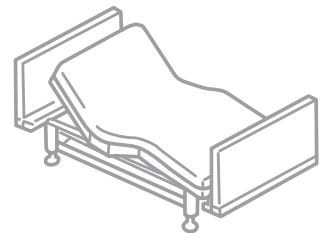
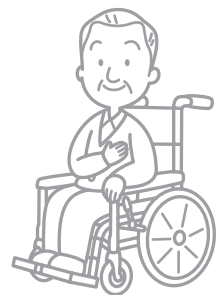
●「福祉用具貸与の例外給付の対象とすべき状態像」とは、次のいずれかに該当するものをいいます。

- I) 状態像が変動しやすいために頻繁に告示(※)の福祉用具が必要な状態に該当する者  
(例:パーキンソン病の治療薬によるON・OFF現象)
- II) 状態が急速に悪化し、短期間のうちに告示(※)の福祉用具が必要な状態になることが確実に見込まれる者  
(例:がん末期の急速な状態悪化)
- III) 身体への重大な危険性や症状の重篤化の回避等医学的判断から告示(※)の状態に該当すると判断できるもの(例:ぜんそく発作等による呼吸不全、心疾患による心不全、嚥下障害による誤嚥性肺炎の回避)

(※)具体的には第23号告示 第19号のイの状態を指す。

(※)第23号告示 第19号イ 次の掲げる福祉用具の種類に応じ、それぞれ次に掲げる者

- 1 車いす及び車いす付属品 次のいずれかに該当する者
  - (一) 日常的に歩行が困難な者
  - (二) 日常生活範囲において移動の支援が特に必要と認められる者
- 2 特殊寝台及び特殊寝台付属品 次のいずれかに該当する者
  - (一) 日常的に起き上がりが困難な者
  - (二) 日常的に寝返りが困難な者
- 3 床ずれ防止用具及び体位変換機 日常的に寝返りが困難な者
- 4 認知症老人徘徊感知器 次のいずれかに該当する者
  - (一) 意思の伝達、介護を行う者への反応、記憶又は理解に支障がある者
  - (二) 移動において全介助を必要としない者
- 5 移動用リフト(つり具の部分を除く) 次のいずれかに該当する者
  - (一) 日常的に立ち上がりが困難な者
  - (二) 移乗が一部介助又は全介助を必要とする者
  - (三) 生活環境において段差の解消が必要と認められる者



- ② サービス担当者会議等を通じた適切なケアマネジメントにより福祉用具貸与が特に必要である旨が判断されていること。

# 介護 ワンポイント アドバイス⑥

## Nursing One Point Advice

### ～ジメジメ肌の対処法～

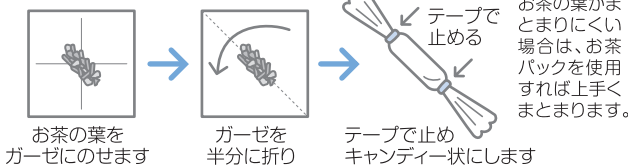
筋肉の拘縮により、皮膚への密着する部分にトラブル(爪による傷・悪臭・水虫等)が起こりやすくなります。そんなトラブルを改善してくれる、当院も使用しているアイテムを紹介します。



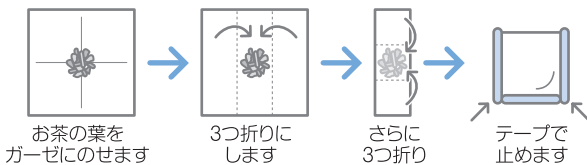
#### パットの作り方

- ①ご家庭で使用されたお茶の葉(緑茶)を天日で乾燥させます
- ②30×30のガーゼにお茶の葉(お茶パック1つ分)を包みます

#### 【手のひら用】



#### 【ひじ・わき用】



- ③出来上がったパットを拘縮部分に挟みます



★お茶の葉がなければ、脱脂綿でも汗を吸収してくれます★  
 ＊お茶に含まれるカテキン成分により、脱臭・殺菌効果が期待でき、お茶の葉が汗を吸収し皮膚を乾燥させます。これからのジメジメした季節がやってきます。

いつもは捨ててしまう、使用済のお茶の葉を再利用して暑い夏を少しでも快適に過ごせたらいいですね!!

ナカムラ病院 介護職長 大野 慎治



今回は、まいえでフラワーアレンジメントを教えてくださいださっている原田香さんにお話を伺いました。

はじめまして。毎月一回、フラワーアレンジメントを通して、みなさんと楽しく過ごしています。六月で五回目になります。みなさんの持っている個性と感性を發揮され、毎回「ステキ」な作品に仕上がっています。

季節の花や、その時の旬の花、庭に咲いている草花・木の枝・葉っぱ・アレンジに使える、いろんな花や材料にふれてもらいたいと思っています。そして、何よりも花を生ける楽しさを感じてもらえれば嬉しいのですが…



毎回出来上がった作品をみて、「きれいじゃね」「ありがとう」と声をかけてくださり、駆け出しの私には励みになります。

これからもよろしくお願ひいたします。

**NEW!!**

電動でスムーズな送迎車が新登場

平成十九年三月より、送迎車が一台新しくなりました。利用者さまが乗降するのに、安全な機能がついています。まず、ドアの開閉に連動し、ステップが出入りする電動スライドステップ。通常の車より段差も低く、乗降が楽にできます。乗車口には、両側に手すりがあり、一方は、一列目の座席前に続く大型手すりです。手すりの色は橙色と見えやすく、滑りにくい素材です。座席横には、可動式の肘おきが付いており、上げれば足の悪い方でも、座席への移動がスムーズにできます。

現在、新車に加え寝台車が二台、ボックスカーが一台の計四台で、利用者さまの送迎に向向いております。体の不自由な方も安心して乗って頂けるよう、職員も介助や笑顔での対応に努めます。車共々どうぞよろしくお願ひいたします。

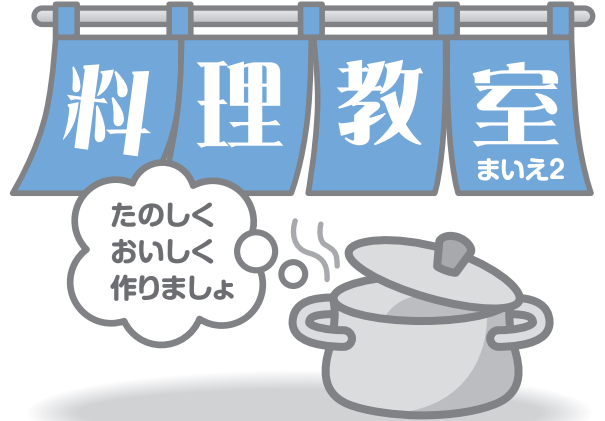
ナカムラ病院 デイケア

にぎや家主任 藤間 智子



▲作りながら話して下さる料理のコツは、職員にも勉強になります!

今年の一月よりまいえ2では月一回の料理教室を行っています。利用者さま十人で昼食の副菜一品と汁物を五十人分作ります。一月の献立はふかし芋・スイートポテト、二月は大根なます・味噌汁、四月は筑前煮・かき玉汁、五月は炊き込みご飯・味噌汁、六月はおはぎを作りました。



利用者さま一人ひとり、真剣な表情がとても印象的で、几帳面に測ったように大根を切られる方、豪快に切られる方など性格がうかがえる一面もありました。利用者さまが包丁を持つことに職員はヒヤヒヤものでしたが、やはり昔取った杵柄でした。回を重ねるうちに手つきはさすがとなり、特にゴボウの笹掻きは手馴れたものでした。できれば「おいしいよ!」「ちよんどの味しとるよ!」など満足度のいく声も聞け、緊張した面持ちも、いつのまにか笑顔に変わっておられました。利用者さまの「今」を大切に、共に楽しんで今後も料理を続けていきたいと思えます。

まいえ2

看護主任 森本 由美子



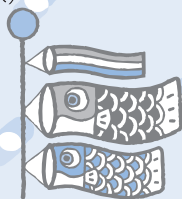
▲利用者さまの食べたいもの、作りたいものを聞いて、献立を決めています

## いきいき行事だより



### 4月

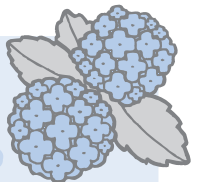
- お花見 (B1・B7・にぎや家・まいえ1・陽光の家)
- お花見弁当作り (つばい)
- 食事とドライブ～宮島口紅葉本陣～ (つばい)
- バスハイク～植物公園～ (B6)
- 春の散策 (B3)
- ハーモニカ演奏会 (A3・にぎや家・つばい)
- 屋食バイキング (まいえ2)
- お茶会 (まいえ1)
- 院内喫茶 (まいえ1・まいえ2)
- 筑前煮作り (まいえ2)
- 家族会総会 (陽光の家)



### 5月

- バスハイク～宮島サービスエリア～ (A3・つばい)
- 節句の祝膳 (つばい)
- ハーモニカ演奏会 (A3・B1・B7・にぎや家)
- 大正琴演奏会 (B6)
- 屋食バイキング (まいえ1・まいえ2)
- お茶席 (B5)
- 院内喫茶 (まいえ2)
- 母の日、押し寿司作り (つばい)
- 母の日、お好み作り (にぎや家)
- 料理教室  
～柏餅作り～ (まいえ1)  
～クレープ作り～ (まいえ2)
- 炊き込みご飯作り (まいえ2)
- 買い物ツアー (つばい)
- ミニ運動会 (まいえ2)
- 運営推進会議 (つばい)
- 家族職員交流会～園芸活動～

### 6月



- 五日市高校吹奏楽部演奏会 (全体行事)
- バスハイク～平和公園・ビッグアーチ～ (まいえ2)
- 親睦フルーツパーティー (つばい)
- ハーモニカ演奏会 (A3・にぎや家・つばい)
- 屋食バイキング (まいえ2)
- フルーツバイキング (B5・B6)
- 料理教室  
～きゅうり・わかめの酢の物～ (まいえ1)  
～ホットケーキ作り～ (まいえ2)
- クレープ作り (B7)
- 誕生会&どら焼き作り (B4)
- おはぎ作り (まいえ2)
- 外食～回転寿司～ (つばい)
- 父の日大運動会 (にぎや家)

# 診療の方針

高齢者の身体的、精神的特性に基づく医療を行い、日常生活への機能回復をはかること、苦痛のない余生を送って頂くことを目的とする。



# C&C新メンバー紹介



西谷 早弥香  
ナカムラ病院 相談指導員

皆さまに楽しんでいただけるように、明るく元気に頑張っていきたいと思えます！



中森 一宏  
ナカムラ病院 相談指導員

楽しく、そして伝わりやすい記事作りを目指して一生懸命がんばります。よろしくお願いします。



▲「徐々に腕がなるわ」



「そろそろ、肥料をまく頃じゃねえ。」最近、患者さまのこんな言葉をよく耳にします。

今年は四月上旬、気持ちの良い日差しの中、患者さまと一緒に、畑にきゅうりやトマト、なす等の苗を植えました。患者さまの中には、自ら鍬を持って土を耕す方や、毎日窓から畑の様子を眺め、それを私たちに教えて下さる方もいらつしゃいます。私たちは日々、患者さまに色々とアドバイスをいただきながら、野菜を育てています。患者さまにとっては、私たちにアドバイスをすることによって、生

活の中で「人に教える」という役割を持つことができます。また、外に出るといいう機会を持つことで、「季節感を味わう」ことができます。そして何より、日々成長していく野菜を見て収穫することが、患者さまの楽しみになってきているのだと感じています。収穫した後には、料理するという新たな楽しみも、患者さまを待っています。何をしようかな…？

ナカムラ病院リハビリテーション科  
作業療法士 中本 慈子  
竹内紗代子



8月 ▶ 12月

### 今後の予定

※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	8月上旬▶8月下旬 日本書教育連盟 広島支部入賞作品 第25回全国習作作品展
	9月上旬▶9月末 PIA利用者さま作品展「今を生きる作品たち」
	10月上旬 PIAいけ花愛好会 花展
	10月中旬▶12月下旬 アトリエREILEY ちいさなアーティスト展
第二展示コーナー	9月上旬▶9月末 PIA利用者さま作品展「今を生きる作品たち」
	10月上旬▶11月中旬 広島市立大学芸術学部油絵専攻 学生有志作品展

### 編集後記

毎日暑い日が続いています。皆さまどのようにお過ごしでしょうか。今年には特に猛暑ということでも各地でも水不足が心配されています。暑いうえに水不足とは過ごしにくい日々ですが、夏はイベントがたくさんあります。海水浴、花火大会、夏祭り…と少しでも楽しく過ごしたいと思う今日この頃です。また、C&Cの編集委員にも明るい新メンバーが加わりました。これからは皆さまが楽しく元気になるような記事をお届けしたいと思います。

(I)